

上場会社名 特種東海製紙株式会社
 代表者 代表取締役社長 三澤 清利
 (コード番号 3708)
 問合せ先責任者 取締役財務・IR室長 関根 常夫
 (TEL 03-3281-8581)

業績予想の修正及び特別損失(資産除去債務費用)の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月14日に公表した業績予想を下記の通り修正するとともに、特別損失(資産除去債務費用)を計上することといたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,000	1,600	1,300	400	2.51
今回発表予想(B)	41,000	2,400	2,000	500	3.13
増減額(B-A)	—	800	700	100	
増減率(%)	—	50.0	53.8	25.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	38,436	1,666	1,510	870	5.47

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	81,000	3,700	3,200	1,500	9.42
今回発表予想(B)	81,000	4,300	3,700	1,500	9.41
増減額(B-A)	—	600	500	—	
増減率(%)	—	16.2	15.6	—	
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	78,063	4,331	4,012	1,792	11.26

修正の理由

1. 業績予想の修正理由

原価低減活動や経費の削減、生産効率の改善効果等により、営業利益、経常利益は前回予想を上回る見込みであります。また、四半期純利益につきましても、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額が想定以上であったものの、上記による営業利益の増加等により、前回予想を上回る見込みであります。

2. 特別損失(資産除去債務費用)の計上

平成23年3月期より「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)の適用に伴い、期首時点で発生する影響額を特別損失に計上いたします。これは、石綿障害予防規則等に基づくアスベスト除去義務に係る費用等であります。

なお、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失の計上は748百万円であります。

(注)

上記予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しておりますので、実際の決算数値とは異なる可能性があります。

以上